

「地域公共交通の確保・維持・改善に向けた取組マニュアル」のご紹介



I 目的・使い方

本マニュアルは、地域の多様な関係者により地域公共交通計画を立案・検討するにあたっての視点・考え方・進め方の参考になればという思いから、自治体、交通事業者等の担当者が地域公共交通の効果的・効率的な取組を推進することにつなげることを目的として取りまとめられました。

本マニュアル概要版の巻末には、「トラブルシューティング」として、バス路線が廃止されそうな場合、自治体の補助額を削減したい場合、など地域公共交通が直面しそうでいくつかのパターンを想定して、どのようなポイントで検討を行うかを、本編のページを逆引きできるようにしました。

まずは、本マニュアル概要版をご覧ください、次に、ご関心がある事項について参照すべき本マニュアル本編をご覧ください。ことにより、より深い理解をえることができますと考えられます。是非、本マニュアルをダウンロード及び印刷してご活用ください。

II 対象者

本マニュアルは、特に、はじめて地域公共交通の確保・維持・改善に携わる以下の方を対象と想定しています。

- 地域公共交通の確保・維持・改善に取り組む行政(国、都道府県、市区町村)の担当者
- 交通事業者(鉄道、バス、タクシー、旅客船)の方
- 地域で交通問題に取り組むNPOや自治会等の方

III 各章の主な概要

1. はじめに

本マニュアルの目的、使い方について記載しています。

2. 地域公共交通の現状

コミュニティバスの輸送実績や収支率など地域公共交通をめぐる状況や関係法律、制度の枠組み等について記載しています。

3. 地域公共交通確保・維持・改善に向けた検討の進め方

検討を行ううえでの留意点、失敗事例の紹介等について記載しています。

4. 地域公共交通計画策定に関する検討・整理

策定に必要な現状把握の方法や目標、基本方針のあり方等について記載しています。

5. 陸上交通の運行のポイントに関する検討・整理

コミュニティバスの定義や運行の形態ごとの留意点、スクールバス等の既存交通機関の活用方法と参考事例、デマンド交通のメリット・デメリット等運行をするにあたって検討しなければならない項目及びその順序について記載しています。

6. 離島航路等の運航にあたってのポイント

離島航路及び航空路の確保・維持・改善に向けた取組に関する法律や制度等について記載しています。

7. 関係者との合意形成の図り方

地域公共交通の取組における合意形成に向けた進め方等について記載しています。

8. PDCAサイクルによる評価のあり方

地域公共交通の確保・維持・改善を行っていくためのPDCAサイクルによる評価のポイント等について記載しています。

9. 関係法律、制度等

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の関係法律や国の交通関係支援メニュー等について記載しています。

コラム1 バス事業者の経営状態、経費構成等

バス事業者の経営環境や運行費用の構成等について記載しています。

コラム2 地域鉄道事業者の経営状態、経費構成等や確保・維持のあり方

地域鉄道事業者のコスト構造や鉄道の維持に向けた取組等について記載しています。

コラム3 利用環境改善促進等の事例・効果等

鉄軌道事業者等のLRTシステムの整備事例等について記載しています。